

岩手県職労

号外

定価 1部2円

発行所

No.2255

2013年

10月21日

昭和34年4月1日

盛岡市内丸10番1号

第3種郵便物認可

岩手県庁内

10月26日(土)
「県本部現業公
企統一闘争・確
定闘争勝利総決
起集会」(場所:
一戸町奥中山)
多くの結集を!

13 確定闘争情報 - ①

確定闘争要求書・人事異動に関する要求書 提出

復興に向け民間経験者
任期の定めのない正職員で

土木職員を選考採用

11/1付で 前倒し採用4人

県職労は18日、達増知事あての統一要求書を提出し、今年度の確定闘争をスタートさせた。また、来年度の定期人事異動に関する要求書についても提出し、大槻人事課総括課長と交渉を行った。

交渉では、県職労が職場の欠員解消を質したのに対し、大槻課長は「10月1日時点での欠員は67人。11月には4人の前倒し採用を予定している」と回答。早期解消と来年度の補充採用の計画を質すと「民間経験者を対象とした正規の建築職員・土木職員を20人ほど、任期の定めのない職員として選考採用することを考えている」とし、来年度当初には、復興に向けた人員体制強化とあわせて欠員解消できるよう対応していく考えを引き出した。

県職労としての次回交渉は31日。組合員から寄せられた職場の厳しい実態や労働条件の改善に向け、交渉を強化していく。(18日の交渉内容は以下のとおり)

◆ 欠員解消と人員体制

《県 職 労》現時点での欠員状況を示せ。

【大槻課長】10月1日時点で67人。

《県 職 労》どう欠員解消していくのか。

【大槻課長】10月に10人の前倒し採用をしたが、11月1日付でさらに4人の採用を考えている。

《県 職 労》年度内での解消は厳しいということか。年度末にも約100人が退職するが、補充採用の考えは。

【大槻課長】試験採用としてI種採用88人・III種採用15人程度、選考採用として保健師や薬剤師等の専門職を中心に15人程度、県配置の任期付職員は30人程度の採用を予定している。この



ほか、民間経験者の枠として、建築職と土木職を20人程度募集している。組合からも要望されていたが、任期の定めのない職員での増員を考えている。

◆ 雇用と年金の接続に向けた再任用の意向確認

《県 職 労》雇用と年金の確実な接続の観点から、希望者全員の再任用を要求している。意向確認についてどのように予定しているか。

【大槻課長】例年11月中旬に募集を行っており、同様の時期に意向把握を行いたい。人事ヒアリングの際にも確認していく考えだ。詳細について調整中だが、決定次第周知する。

◆ 来年度の組織再編

《県 職 労》来年度、組織再編を行う考えはあるのか。

【大槻課長】復興のための組織強化にかかる調整はあるが、大掛かりな統廃合等は考えていない。

◆ 人事異動内示に向けたスケジュール

《県 職 労》要求書では3月1日の早期内示を求めている。作業スケジュールはどうか。

【大槻課長】組織定数の考え方を早めに示せるよう努力する。身上調書は例年どおり11月中旬頃と考えているが、所属長の取りまとめの関係から、職員が時間のない中で検討を迫られるケースがあるとも伺っており、できるだけ早めに職場へ配布できるよう努める。

◆ 振興局長権限での市町村人事交流

《県 職 労》交流人事に関し、本人への説明不足や、市町村の内示時期まで勤務場所が決まらないなど、不安と混乱も生じている。人事課として状況把握や指導を行うよう求める。

【大槻課長】昨年度も同様のお話をいただき、関係部局へ話をつなげたところだが、あらためて承らせていただく。個別具体的実態も含めてご相談があれば対応させていただく。

《県 職 労》勤務地の変更は大幅な労働条件の変更であることから、本人へ丁寧に説明し、しっかりとした同意を踏まえるよう求める。

このほか、内陸でも風水害による災害復旧業務の増加や、数か月単位での部局内応援体制により実質的な人員減の発生等の実態を訴えるとともに、超勤実態の把握と超勤手当予算の確保、長距離走行の公用車の更新などを求めた。大槻課長は、「様々な実態は、率直に主管課に伝えていただきたい。人事課としても声を踏まえ可能な限り対応を検討していく考えだ」と述べた。

県職労は引き続き職場実態の把握と、人事当局への意見反映を行い、改善を求めていく。

地方交付税削減ダメ 全国知事会へ要請 自治労 県職共闘

自治労県職共闘（議長：船山山形県職労委員長）は10日、全国知事会に対して、地方交付税減額を二度と行わないよう、政府に意見反映していくよう要請した。全国知事会副会長の飯泉徳島県知事は「この課題は組合側と同じ考えだ。しっかり要請していく」との考えを示した。